



学校だより

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/byobugaura/>

11 月 号
令和3年10月29日
横浜市立屏風浦小学校
校長 海老原 眞

つながりの「輪」

副校長 村松 美奈子

10月も中旬を過ぎると、心地よい空気がすうっと流れ、秋の訪れを感じるようになりました。運動をするにも学びを深めるにもよい季節です。子どもたちの笑顔があふれる豊かな学びが実る秋となるよう、屏風浦小学校でも日々を大切に重ねていきます。

10月20日・21日には「第66回 屏小スポーツフェスティバル（運動会）」が行われました。スポーツフェスティバル（運動会）のスローガンは「輪 ～全力・協力・あきらめない～」でした。形は変わっても屏小全体がつながることができるスポーツフェスティバル（運動会）を目指してがんばりました。

また、新型コロナウイルスの感染状況を考慮して、今年度も来場人数を制限して実施させていただきました。保護者の皆様、地域の方々のご理解とご協力により、無事に終えることができました。あらためて感謝申し上げます。ありがとうございました。

21日の5校時に行われた閉会式では、運動会実行委員の皆さんが各学年のめあてや振り返りを発表してくれました。一部を紹介いたします。

「1年生ははじめての運動会でした。玉入れでは、楽しく踊っていてかわいかったですね。50M走では、一生懸命がんばってゴールできました。」

「2年生の玉入れでは、みんなで協力して玉を入れていました。徒競走では、腕を振って走ることが目標だったそうですが、目標は達成できましたか。2年生はこの2つの種目をがんばりました。」

「3年生です。大玉運びでは、4人で安全に協力して速く運ぶことが目標だったそうです。徒競走では、フライングしない、一生懸命、応援、話さない、この4つの目標に向かってがんばりました。」

「4年生のみなさんは、「台風の日」で協力と団結力を目標にし、本番でその成果を見せつけてくれましたね。リレーも一人ひとりが速く、かっこいい走りを見せてくれました。応援もがんばってましたね。とてもよかったです。」

「5年生の演技では、短い期間の練習の中で、みんなで力を合わせることをがんばり、本番で発揮できました。100M走では、最後まであきらめず、全力で走ることができました。」

「6年生です。ソーラン節では、低さや力強さを意識して踊りました。徒競走では、スタートダッシュ、カーブに気をつけて走っていました。」

本番にたどりつくまでの間に、どれだけ準備と努力と葛藤があったのだろうと思います。運動会に限らず、目に見えている姿の裏には、たくさんの目には見えない努力や様々な思いや葛藤があります。結果だけを見るのではなく、そこに至るまでの過程に思いを寄せ、おもんばかりながらかわっていくことが「輪」を作り上げることにつながるのだと思います。

これからも子どもたちの成長の過程をしっかりと見届けながら教育活動を行うよう、努力してまいります。今後ともご理解とご協力のほど、よろしく願いいたします。